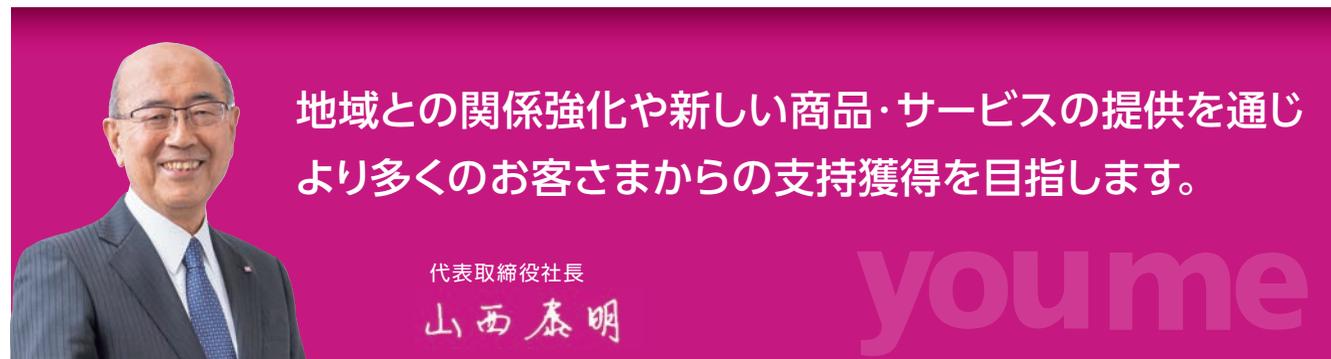


第62期 第2四半期 報告書

2022年3月1日▶2022年8月31日





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、一部には社会・経済活動が回復しつつも、ウクライナ紛争等に起因するエネルギー価格の高騰や円安などによる物価上昇により、個人消費は引き続き不透明感を帯びて推移しています。

このような状況の下、当社グループにおきましては「地域貢献オンリーワン企業を目指す」をスローガンに掲げ、第二次中期経営計画にて定めた戦略を推進してきました。

主力の小売事業では、外出・旅行などのオケージョン需要にも回復の兆しがみられたことから、お客さまの消費行動の変化に対応した店舗営業体制に大きく軸足を移して事業を推進してきました。

商品面では、当社グループ初となる自社製造ブランド「zehi(ぜひ)」の展開を4月から開始し、新しい市場ニーズや価値観に対応するよう看板商品をリブランディングした惣菜・生鮮加工品を全店舗で取り扱っています。また、GMS店舗ではライフスタイル(衣料品)売場のリブランディングの一環として、(株)アダストリアと協業し開発した新ブランド「SHUCA(シュカ)」を投入、30代～40代の女性が利用しやすくなる売場を目指します。

店舗面では、9月に「あらおシティモール」を当社運営による「ゆめタウンシティモール」としてリニューアルオープンしました。それに先駆け、4月には同店内に「荒尾市立図書館」を移転オープンし、地域の拠点としてのコミュニティ機能を備えることで、幅広い世代の方の憩い・集いの場としてご利用いただいています。また、「ゆめタウン廿日市」では新規テナントを23店舗導入し、

快適な日常生活をご提案するヘルス&ビューティコーナーの設置など店舗面積の約7割を刷新。さらに、「ゆめタウン久留米」「ゆめタウン徳島」など各地域の旗艦店舗もそれぞれリニューアルオープンしました。

「ゆめタウン」等への人出の回復につれて販売動向も好転し、直営ライフスタイル売場やアパレル・飲食専門店テナントへの集客回復を中心として好調に推移しました。また、「北海道フェア」などの大型イベントへのお客さまの反応も強まるとともに、FC業務の「3コインズ」や「プラグス マーケット」の業容拡大が増収に寄与しました。

コスト面では、エネルギー価格や食料品・日用品などの急速な値上がりに対し、在庫・商品ロスマネジメントを徹底することで売上原価の低減に努めました。また、高騰する電力料金をはじめとする水道光熱費の低減に全社一丸で取り組みました。

小売周辺事業では、「ゆめカード(ゆめかクレジット)」のデザインを15年振りに一新、新たなサービスを付加し機能を充実させました。これらにより電子マネー「ゆめか」及びクレジットカードの新規会員獲得や外部加盟店での取扱いを推進し取扱高が拡大しました。

当社グループにおきましては、昨年策定した「サステナビリティ基本方針」に基づき、社会面における「調達方針」「人権方針」「ダイバーシティ&インクルージョン方針」、環境面における「気候変動対応方針」「TCFD提言に基づく対応」を策定のうえ、社会環境の変化に対応したマテリアリティ(重点課題)を抽出・特定し、サステナビリティ推進に取り組んでいます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。
地域になくなくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

営業収益

2,240億円	3,397億円 ^{*1} (前年同期比) 102.4%
---------	--

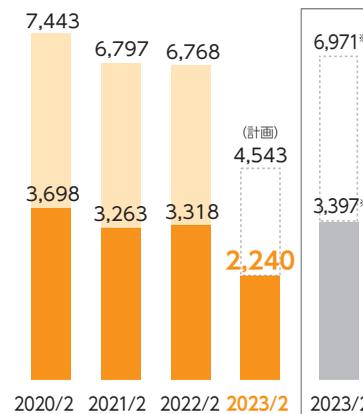
経常利益

159.0億円	159.0億円 ^{*1} (前年同期比) 98.1%
---------	---

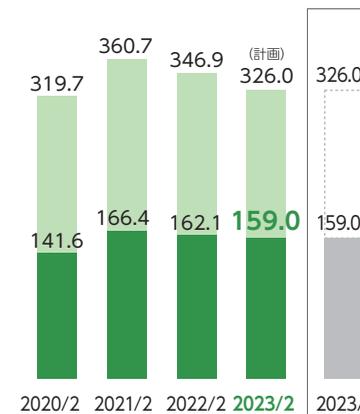
親会社株主に帰属する四半期純利益

106.3億円	106.3億円 ^{*1} (前年同期比) 99.2%
---------	---

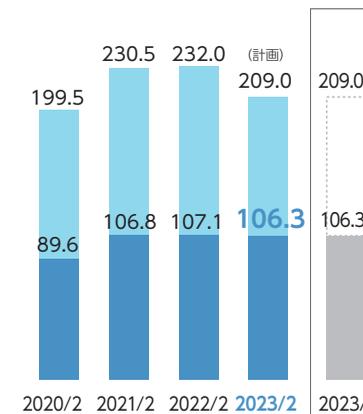
(単位：億円)



(単位：億円)

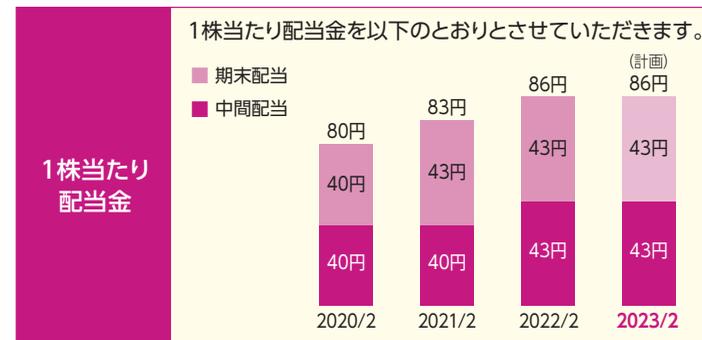
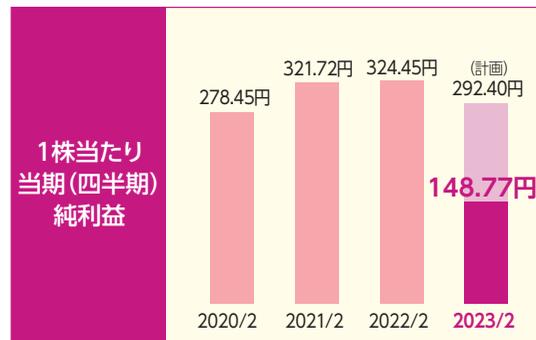


(単位：億円)



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

*1.参考として当該会計基準等を適用する前の数値に組替えた2023年2月期第2四半期の業績及び前年同期比(%)並びに2023年2月期業績予想数値を記載しています。



イズミは変化し続ける生活スタイルにしなやかに対応し、新たな成長ステージを目指していきます。

新たな生活スタイルに対応した店づくりに挑戦するため、「SMの改革」「GMSの再生・進化」「グループ経営の強化」という3つのテーマを掲げています。ここでは店舗戦略の最新トピックスをご紹介します。



ゆめモール西条

広島県東広島市

2022年10月27日
グランドオープン!

広島県初のゆめモール! 「通う・出会う・憩う」地域の生活拠点

広島県中央部にあり世帯数も人口も毎年増加し続けている成長都市東広島市に、「ゆめモール西条」を開業しました。

この店は、東広島市内では5店舗目となる店舗ですが、「ゆめモール」型の業態としては広島県内初出店。食品スーパー「ゆめマート」を中心に、ホームセンター、レストラン、家電量販店などを集約したオープンモール型の商業施設です。「通う・出会う・憩う」をキーワードに、地域の生活拠点として、環境にやさしく、安全安心、便利で快適、健康な暮らしを提供する地域密着型モールを目指します。



店舗概要
・敷地面積/約96,700㎡・延床面積/約33,900㎡
・店舗面積/約29,300㎡・駐車台数/約1,380台



従業員研修

8月29日にゆめマート西条で働く従業員(パートナー社員・アルバイト社員)の入社式を行い、その後研修を実施しています。ゆめマート西条の従業員研修で初めてSDGs研修を実施。座学やSDGsカードゲームを通じてSDGsに興味を持っていただき、働きながらSDGsを考えていけるように実施します。



グループワークでSDGsカードゲームを実施

生産者訪問

オープン前に野菜の地元生産者さまを訪問し、実際に商談を実施しました。ゆめマート西条の店長、青果主任、担当バイヤーが訪問し、野菜の育て方やこだわりについて学びました。



ゆめタウン飯塚

福岡県飯塚市

2023年・夏
OPEN予定

新築起工! 最先端の体感交流と出会う施設

飯塚市は、福岡県の中央部に位置する学園都市であり、IT企業や先端産業が集積する情報産業都市として発展を続けています。「ゆめタウン飯塚」の計画地は、筑豊地域の食を支えてきた地方卸売市場の跡地で、JR飯塚駅から徒歩5分という好立地です。主要幹線道路に面し、国道バイパスにも近接していることから、筑豊エリアを含めた広域からの集客も見込まれます。店舗のコンセプトは、「最先端のMIRAIに出会える体感交流拠点」。体験・共感・感動できる店づくりを実施し、地域に根差した持続可能なまちづくりへの貢献を目指してまいります。



店舗概要
・敷地面積/約55,200㎡・延床面積/約88,500㎡
・店舗面積/約30,500㎡・駐車台数/約2,200台
・専門店数/約100店舗

ゆめテラス祇園

広島市安佐南区

2023年・夏
OPEN予定

新築起工! 日々の豊かさ、憩い、集いを生み出す新業態店舗

広島市安佐南区祇園エリアは、広島市中心部から近く、鉄道や道路網などの交通インフラがとても充実した地域です。住環境にも恵まれ、現在も人口が増加しており、周辺には大きなマーケットを有しています。イズミはその地に、1973年3月、中国地方では初となる郊外型大規模店「いづみ祇園ショッピングセンター」をオープン。その後「ゆめタウン祇園」に名称を変え、地域の皆さまに愛される店として長年営業を続けてまいりました。しかし耐震基準の課題から、リニューアルのため一時閉店を発表し、2021年12月から、仮設店舗で食料品や日用品を揃えた食品スーパーを展開しています。イズミとして思い入れの強いその地に、新たな魅力を備えた「ゆめテラス」型新業態店舗をつくるプロジェクトを進めています。



店舗概要
・敷地面積/約12,900㎡・延床面積/約19,000㎡・店舗面積/約8,100㎡
・駐車台数/351台

新業態「ゆめテラス」の新たな魅力



「ゆめテラス」は「ゆめタウン」でも「ゆめマート」でもない、新しい業態です。「ゆめテラス祇園」ではゆとりの空間の中に広島の四季を感じられる植栽など備えて、安全で便利なショートタイムショッピングを実現し、「地域の憩い・集いの場・利便性」を生みだします。



ゆめタウン廿日市

広島県廿日市市

2022年4月21日
リニューアルオープン!

新規専門店が続々登場!売場面積の約7割を刷新

「暮らしやすく」を、新しく。もっと廿日市を毎日へ」をコンセプトに、「ゆめタウン廿日市」がオープン以来初めてとなる、大規模リニューアルを実施いたしました。

新しい魅力として新規専門店を23店舗導入、快適な日常生活をご提案するヘルス&ビューティコーナーの設置など、店舗面積の約7割を刷新いたしました。最新の売場や商品、お買い物体験をご提供するとともに、持続可能な社会の実現に向けてサステナブルな取り組みを実施し、お客さまのより便利で豊かな暮らしをサポートしてまいります。



新規専門店「アカチャンホンポ」

ゆめタウンシティモール

(旧店舗名:あらかしシティモール) 熊本県荒尾市

2022年9月15日
リニューアルオープン!

店舗をさらに活性化! もっと新しく、もっと楽しく、もっと快適に

熊本県荒尾市の市民の皆さまに長年愛されてきた「あらかしシティモール」をリニューアルし、「ゆめタウンシティモール」としてグランドオープンいたしました。

このたびの大規模リニューアルでは、ライフスタイルの多様化や変化するお客さまニーズにお応えできるよう、「もっと新しく、もっと楽しく、もっと快適に」をキーワードに、熊本県初の冷凍食品を揃えた「無印良品」、九州初出店となる「Standard Products」をはじめ26の新規専門店を導入。また、地元マルシェの拡充やフードコートの拡大など新しい食の体験を提供しています。また、荒尾市と連携し4月にオープンした荒尾市立図書館は、本や電子書籍を読む・学ぶだけでなく、さまざまな世代の方が交流できる憩い・集いの場となって

おり、7月にはテラス席も設置しました。今後も、多様化するお客さまニーズにお応えしながら、人と人がつながる地域の生活拠点として、より便利で豊かな暮らしをサポートしてまいります。



店舗概要 ・敷地面積 / 84,715㎡ ・店舗面積 / 27,810㎡ ・駐車台数 / 1,628台

1 「もっと新しく!」

九州初出店から話題のお店まで
新規専門店が続々登場



九州初出店となる「Standard Products」

2 「もっと楽しく!」

地元マルシェの拡充・フードコートの
拡大による新しい食体験の提供



フードコートは席数を約2.2倍に拡大

3 「もっと快適に!」

人と人がつながる地域の生活拠点として
情報発信、憩いの場づくり



4月に開館した荒尾市立図書館

イズミとアダストリアがコラボレーション

新ブランド「SHUCA」誕生!

ゆめタウン衣料品売場の活性化の取り組みとして、新ブランド「SHUCA(シュカ)」の展開を、9月15日よりスタートしました。

「SHUCA」は、“グッドコミュニティ共創カンパニー”を目指す(株)アダストリアと協業し開発したもので、商品編集・コンセプト・空間演出をアダストリアがプロデュースしています。

ゆめタウン広島(広島県広島市)・ゆめタウン安古市(広島県広島市)での展開を皮切りに、9月22日から「ゆめタウン」46店舗で販売を開始しております。



新ブランド「SHUCA」のコンセプト

“思うままにわたしらしく”をコンセプトに、自分の時間を有効に楽しみたいから選ぶ時間も着る手間もシンプルだとうれしい、何かと忙しい30代~40代の女性があつもの自分を好きになる Save time wear. ワンストップで揃うメリットを活かし、気楽に気軽に簡単に選べる服をラインアップし、シンプルカジュアルスタイルをベースに、自然体で飾らない女性に、清潔感のある着こなしを提案いたします。

スマートフォンとセルフレジでお買い物「ピピットセルフ」導入

10月13日よりゆめタウン廿日市にスマホとセルフレジでお買い物ができる「ピピットセルフ」が導入されました。

お客さまのスマホ、または貸し出しの端末でアプリを起動し、スマホで商品を読み取った後、セルフレジにてお支払いをしていただき、最後に買上確認としてレシートを読み取って終了です。お買い物をしながら商品の読み取りができるので、レジでの待ち時間などが短縮されます。



お客さま、地域、テナントさま、社員とともに

イズミが取り組むサステナビリティ

希望あふれる「持続可能な未来」を目指して、グループ丸となってサステナビリティ活動に取り組んでいます。その具体的な取り組み例をご紹介します。

照明をおさえて省エネ

「ライトオフプロジェクト」を開始

4月1日より、イズミグループ全店で「ライトオフプロジェクト」を実施しています。店舗塔屋（屋上看板）の照明消灯（20時以降）や、従業員による省エネ活動を通して、節電に努め、電気の使用によるCO₂の排出量を削減し、地球温暖化を防止することに取り組んでいます。



屋上看板を消灯したゆめタウン広島

プラスチックがごみにならない未来を目指す

「UMILE(ユーマイル)プログラム」回収ボックス設置

ゆめタウン広島・ゆめタウン廿日市・ゆめシティに「UMILEプログラム」回収ボックスを設置し、ユニリーバ製品の使用済みプラスチック容器包装を回収しています。回収した容器は、資源として分別・裁断・洗浄・粉碎・ペレット加工等の処理をほどこされ、育苗ポットやプランター、3Dプリンターを使った造形物や地域性を生かしたエコグッズなどに再生し、リサイクルされます。



食品ロスとプラスチックごみを削減する

「バナナ量り売り企画」開始

バナナは、ひと房ずつ袋に包装して販売されるのが一般的です。しかしその売り方だと、家庭内で余らせた場合、食品ロスにつながるという声がありました。そこで、バナナを必要な量だけ購入できる袋包装なしの「量り売り」販売を開始。これにより食品ロスとともに、プラスチックごみも削減します。



使用済みペットボトルを新しいペットボトルへ

「ボトルtoボトル」水平リサイクル開始

サントリー食品インターナショナル(株)と協働して「ボトルtoボトル」の水平リサイクルの取り組みをゆめタウン東広島・ゆめマート西条よりスタートしました。これは、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせるリサイクルで、正しく分別することで何度でも「ペットボトル」として循環できます。ペットボトル自動回収機とともにアルミ缶自動回収機も設置。これからも設置店舗を順次拡大し、さまざまなリサイクルの取り組みにより、資源の有効活用を推進してまいります。

ゆめアプリ連携ペットボトル自動回収機



海洋ごみを自分ごとと考える行動の輪を広げたい

宮島で海岸清掃活動に参加

海洋ごみの約8割は、街から流れてきます。美しい瀬戸内海を未来に残すには、自分たちの住む街や川、海にあふれているごみをみんなで綺麗にすることが大切です。

イズミは『海洋ごみ問題ジブングト化プロジェクトin広島』※に賛同し、宮島で清掃活動を行いました。ゆめモール西条のオープニングスタッフを中心に総勢50名のスタッフが参加し、宮島・包ヶ浦自然公園の海岸を清掃。想像以上に多い海洋ごみの量に驚くとともに、今後もこうした活動を続けていくことの大切さを学びました。



※日本財団「海と日本プロジェクト」が取り組むプロジェクト「CHANGE FOR THE BLUE」の一環として設立されたものです。

ヘルスケアのチャットアプリも導入開始!

“健康経営”を本格始動

イズミグループでは、経営的視点から従業員の健康管理を考える「健康経営」を企業活動の中に採り入れ、積極的に社員やパートナー社員の健康づくりを応援しています。その一環として、6月から「健康相談アプリ」を導入しました。

このアプリはチャットで健康相談に応じるもので、医師・看護師・薬剤師が相談内容に応じてそれぞれ専門的な立場で対応します。24時間365日いつでも利用でき、本人以外のご家族の相談にも応じます。

ヘルスケアアプリ

HELPO

無料

24時間365日
チャットで
相談

ご自身以外に
ご家族の
相談も

医師・看護師・
薬剤師の
チームが対応

地域活性化や災害時の備えなどの課題解決をサポート

各地で協定を締結しています

協定締結数 68
(2022年9月30日時点)

イズミは、一つひとつの地域に「新しい価値」と「新たなまちづくり」を提供することを重要な経営テーマとしており、その実現を目指して各地域の行政と協定を締結し、地域活性化や災害への備えなど地域の課題を解決するお手伝いをしています。

これからも、より積極的に、より多くの地域と連携強化をはかっていきます。



■2022年3月以降の協定一覧(2022年9月30日時点)

5月20日	高梁市	地域活性化包括連携協定
5月25日	益田市	災害時における物資支援協力に関する協定
5月31日	高松市	連携・協力に関する包括協定
7月20日	安芸高田市	地域活性化包括連携協定
7月27日	藍住町	地域活性化包括連携協定
8月18日	菊陽町	地域活性化包括連携協定
8月25日	武雄市	地域活性化包括連携協定
8月25日	浜田市	災害時における物資支援協力に関する協定
9月21日	井原市	地域活性化包括連携協定

ホームページでイズミの「サステナビリティ」に関する取り組みを発信

ホームページ内に、「サステナビリティ」に関する専用サイトを新設しました。

イズミの
サステナビリティ
専用サイト



アニュアルレポートを刷新し 2022年より「統合報告書」を 発行開始

イズミ 統合報告書2022



イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。

各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客さまに新たな驚きと感動をお届けしてまいります。

株式会社 ゆめデリカ

安心安全の自社製造。惣菜新ブランド「zehi」誕生!

自社製造ブランド「zehi(ぜひ)」が4月にスタートしました。

ブランド認定には社内試食会だけでなく、お客さまのニーズを反映した商品作りを進めるため、一般公募のお客さまにも社外モニターとして試食いただきました。また、9月にはブランドの認知度UPのため店舗、SNSでのzehi商品の人気投票企画「zehi総選挙」を実施しました。今後も自社工場商品を中心に惣菜事業部と連携して、zehi認定アイテムを開発しお客さまにお届けいたします。

このまちの味になる。

youmeのDELI
zehi



深川第二工場

「zehi総選挙」上位3商品



1位 夢次郎 おはぎ

2位 泉唐匠とりから揚げ (醤油・だし塩)

3位 広島風お好み焼き

株式会社 ユアーズ

ゆめタウン廿日市に「アバンセ」を新規出店!

4月21日にゆめタウン廿日市のリニューアルに合わせ、当社では初となるゆめタウン内に「アバンセゆめタウン廿日市店」を新規出店いたしました。アバンセでは厳しい基準をクリアし、徹底して管理された「安全性」とこだわりの「品質」をお届けいたします。そしてお客さまの食のニーズに対する新しいライフスタイルの提案と、上質な空間の創造を通じてゆめタウンの魅力アップにも貢献してまいります。

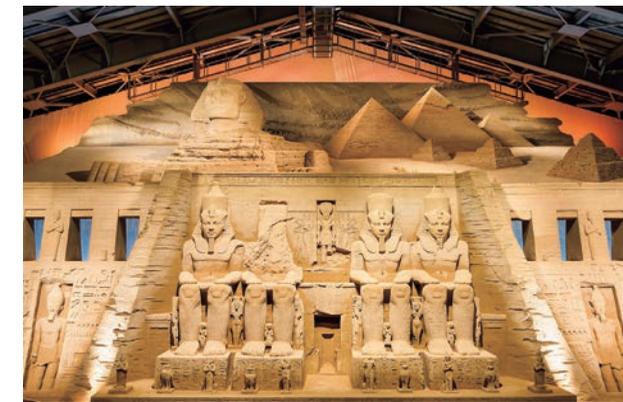


株式会社 イズミテクノ

鳥取砂丘 砂の美術館 新砂像展の開催「砂で世界旅行・エジプト編」

砂の美術館では砂で世界旅行をコンセプトに、展示を行っています。14回目を迎えた今期のテーマは「砂で世界旅行・エジプト編」です。2022年はエジプトの独立100年と、ツタンカーメン王の墓が発掘されて100年の節目にあたることから、テーマを「エジプト」に選定しております。

今回のエジプト編では、ピラミッドやスフィンクス、アブ・シンベル神殿など、砂との親和性の高いテーマを砂像で再現しております。実物により近いリアルな感覚と臨場感をお楽しみください。



株式会社 ゆめマート熊本

熊本県よりSDGs登録事業者に 認定されました。

食品ロス問題は社会的にも取り組むべき課題で、フードドライブ活動や啓蒙活動を実施しながら、お客さまと共にSDGsに取り組んでおります。また、食品を扱う当社としては廃棄ロス削減に取り組んでいただくために、お客さま参加型“もぐもぐチャレンジ”を実施しております。こうした活動を実施していることから、熊本県よりSDGs登録事業者に認定されました。今後もSDGsへの取り組みを進化させ地域へ貢献してまいります。



株式会社 ゆめカード

電子マネーゆめか 第2弾マイナポイント事業に参画

6月30日より開始された第2弾マイナポイント事業に参画し、「健康保険証としての利用申込み」「公金受取口座の登録」にて、ゆめかでのマイナポイント受取を可能とし、多くのお客さまに登録いただいております。今後は自治体マイナポイント事業にも参画し、自治体ごとの施策目的に応じたポイント受取先としてゆめかをご選択いただけるよう対応予定です。引き続き、地域社会に根差した決済サービスの提供を続けてまいります。



2023年2月期 第2四半期 [連結] 決算概況

■ 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 2022.2.28	当第2四半期末 2022.8.31
(資産の部)		
流動資産	88,867	94,037
固定資産	379,931	376,717
有形固定資産	329,367	327,467
無形固定資産	11,234	11,170
投資その他の資産	39,329	38,079
資産合計	468,798	470,754 ①
(負債の部)		
流動負債	93,835	100,478
固定負債	112,529	102,256
負債合計	206,364	202,735 ②
(純資産の部)		
株主資本	247,515	253,678
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,580	22,580
利益剰余金	206,121	212,203
自己株式	△ 800	△ 719
その他の包括利益累計額	1,173	752
非支配株主持分	13,744	13,588
純資産合計	262,433	268,019 ③
負債純資産合計	468,798	470,754

① 総資産

4,707億円 [前期末比19億円増加]

- ・受取手形、売掛金及び契約資産は、クレジット取扱高の増加等により3,441百万円増加しました。
- ・商品及び製品は、商品構成の見直し及び季節的な要因等により1,588百万円増加しました。
- ・当第2四半期の設備投資額は6,587百万円であり、これは主に既存店舗の活性化、店舗新設に係る先行投資及びDX投資等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で1,900百万円減少しました。
- ・投資その他の資産は、投資有価証券の時価評価額の減少等により1,249百万円減少しました。

② 負債

2,027億円 [前期末比36億円減少]

- ・その他流動負債は、収益認識会計基準等を適用したこと等により9,254百万円増加しました。
- ・支払手形及び買掛金は、季節的な要因により増加の一方、収益認識会計基準等を適用したこと等により1,507百万円減少しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、14,677百万円減少しました。

③ 純資産

2,680億円 [前期末比55億円増加]

- ・利益剰余金は、収益認識会計基準等の適用に伴い、利益剰余金の当期首残高が1,449百万円減少した一方、内部留保の上積みにより6,081百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は54.0%となり、前期末の53.0%に比べて1.0ポイント上昇しました。

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2021.3.1～ 2021.8.31	当第2四半期 2022.3.1～ 2022.8.31
営業収益	331,844	224,061 ④
売上高	315,182	197,984
売上総利益	71,915	66,130
営業収入	16,661	26,076
営業総利益	88,577	92,207
販売費及び一般管理費	72,606	76,512
営業利益	15,970	15,694
経常利益	16,214	15,907 ⑤
税金等調整前四半期純利益	15,983	15,964
法人税等合計	5,095	5,159
四半期純利益	10,887	10,805
非支配株主に帰属する四半期純利益	168	170
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,719	10,634 ⑥

■ [連結] キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2021.3.1～ 2021.8.31	当第2四半期 2022.3.1～ 2022.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,320	20,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,298	△ 4,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,197	△ 17,787
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 16,174	△ 1,950
現金及び現金同等物の期首残高	25,306	11,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,132	9,671

④ 営業収益

2,240億円 ④
[前年同期比 102.4%]

- ・営業収益は224,061百万円(前年同期331,844百万円)となりました。収益認識会計基準等の適用により、従来一部の専門店から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、代理人取引に該当するものとして純額で収益を認識する方法に変更しました。
- ・売上総利益は、66,130百万円(前年同期71,915百万円)となり、営業収益対比では29.5%となりました。
- ・販売費及び一般管理費は、昨年度に引き続き筋肉質な経営体質の定着のため経費抑制に努めた一方、エネルギー価格の高騰に伴う水道光熱費の増加などにより76,512百万円(前年同期72,606百万円)となり、営業収益対比では34.1%となりました。
- ・これらの結果、営業利益は15,694百万円(前年同期15,970百万円)となり、営業収益対比は7.0%となりました。

⑤ 経常利益

159億円 ⑤
[前年同期比 98.1%]

- ・営業外収益は649百万円(前年同期837百万円)となりました。一方、営業外費用は、支払利息の減少などにより436百万円(前年同期593百万円)となりました。
- ・これらの結果、経常利益は15,907百万円(前年同期16,214百万円)となり、営業収益対比は7.1%となりました。

⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益

106.3億円 ⑥
[前年同期比 99.2%]

- ・法人税等は5,159百万円となりました。非支配株主に帰属する四半期純利益は170百万円(前年同期168百万円)となりました。
- ・これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,634百万円(前年同期10,719百万円)となり、営業収益対比は4.7%となりました。

※1 参考として当該会計基準等を適用する前の数値に紐づいた2023年2月期第2四半期の業績及び前年同期比(%)を記載しています。

■ 会社概要

(2022年8月31日現在)

設立年月日 1961年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員数(連結) 正社員 4,476名
 パートタイマー 11,046名(1日8時間換算)

店舗数(連結) 195店舗*(GMS・SC 64店舗、NSC 3店舗、SM 121店舗*、その他 7店舗)

中国エリア:94店舗
 GMS・SC 39店舗 NSC 1店舗 SM 52店舗* その他 2店舗

九州エリア:84店舗
 GMS・SC 19店舗 NSC 2店舗 SM 61店舗 その他 2店舗

四国エリア:12店舗
 GMS・SC 4店舗 SM 8店舗

その他のエリア:5店舗
 GMS・SC 2店舗 その他 3店舗

※(株)ユアーズのゆめタウン廿日市への出店が含まれます。

■ 役員一覧

(2022年8月31日現在)

代表取締役社長	山西 泰明
取締役副社長	三家本 達也
取締役専務執行役員	町田 繁樹
取締役専務執行役員	梶原 雄一朗
取締役	黒本 寛
社外取締役	似鳥 昭雄
社外取締役	米田 邦彦
社外取締役	青山 直美
常勤監査役	川西 正身
社外監査役	堀川 智子
社外監査役	岡田 弘隆

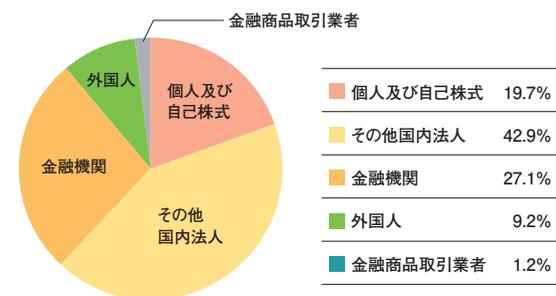
常務執行役員	藤井 洋二郎
上席執行役員	徳田 隆
上席執行役員	溝口 晋
上席執行役員	山西 大輔
執行役員	岡本 圭史
執行役員	沼本 真輔
執行役員	河崎 智広
執行役員	山野 正道
執行役員	小林 篤志
執行役員	阿部 睦夫
執行役員	平 公成
執行役員	廣瀬 伸作
執行役員	宮次 太功

■ 株式の状況

(2022年8月31日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 71,665,200株
 株主数 13,217名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況

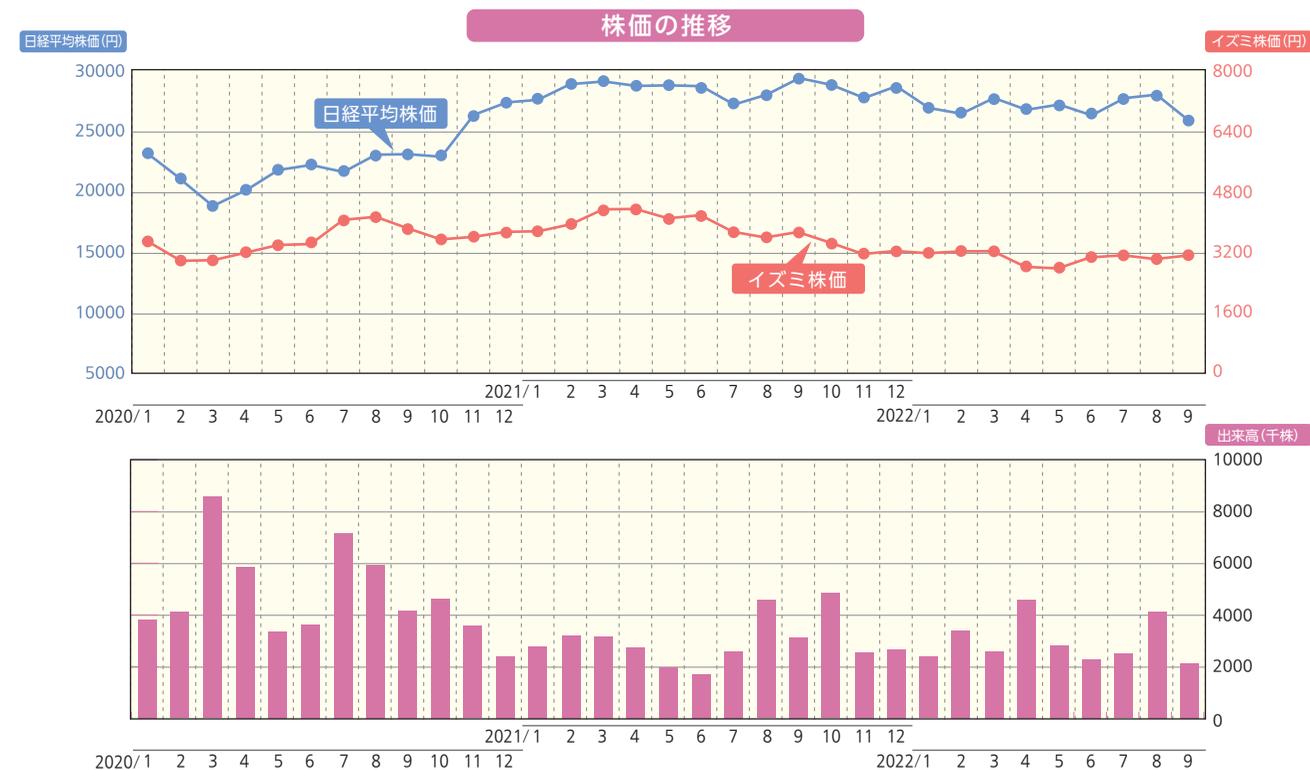


■ 大株主の状況

(2022年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	5,387千株	7.5%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
(株)日本カस्टディ銀行(信託口)	3,634千株	5.1%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
全国共済農業協同組合連合会	2,091千株	2.9%
山西 泰明	2,048千株	2.9%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
イズミ広島共栄会	1,989千株	2.8%

(注)持株比率は、自己株式(168,724株)を控除して計算しています。



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告方法	電子公告 (やむを得ない事由のある場合 日本経済新聞)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	☎ 0120-782-031
[WEB照会先]	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚(100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末日時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを年1回贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフト券※2
	現行制度に株主優待券をお選びの株主様	現行制度にギフト券をお選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デイリーマート、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2「ギフト券」は全国でご利用いただける三菱UFJニコスギフトカードを贈呈いたします。

泉美術館ご招待券の贈呈

2022年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



■ 開館時間

午前11時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)

年末年始(12月30日～1月1日)

※展示替えによる臨時休館日

■ 住所

〒733-0833

広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階

TEL(082)276-2600

■ ホームページ <https://izumi-museum.jp/>